

OB会を「飛竹会」と命名 和気あいあいとした空気を大切に

わがLOMの
シニアクラブ

乙訓JC
[京都]

乙訓 JCは京都と大阪の境に
位置し、京都西山の麓に
あります。竹の子の産地として有名なこ
の地域には、古くから都が築かれた長
岡京や時代が動く舞台となった天王山
があり、名水が湧き出ることから、ウイ
スキーやビール工場も点在しています。エ
リアは長岡京市、向日市、大山崎町の2
市1町で、人口は約15万人の地域です。

創立は1979年。昨年は創立25周
年の節目を迎えることができました。
会員数は多くの地域と同じように減少
を続けておりましたが、ここ数年は拡
大に力を入れ、毎年二ケタ増で70名を
超すまでに戻ってきました。OB特別
会員は現在167名です。年に1度の
総会や、現役会員との交流の場である



忘年会の風景

年2回のじゃがいもクラブは、すぐに定
員がいっぱいになるくらいの大盛況です。
先輩の中から東証一部上場を果た
す企業を育てた方をはじめ、多くの
先輩が事業や地域活動で活躍されて
います。現役JCの事業である新年
会、卒業式、忘年会などへの参加もと
ても積極的です。さらに、昨年から規
模を拡大して始まった「乙訓ふるさと
ふれあい駅伝」はエリア内のすべての小
学校が参加して2市1町をタスキでつ
なぐ事業です。その時は沿道の警備や
設営手伝いなど現役会員の指揮の下
で一緒にすばらしい汗をかいています。

そんな乙訓JC OB会は、25周年を機
に新しく名称を「飛竹会」と名付けまし
た。由来はいたって簡単に、創立の79年を
九九で読むと「ひちく」と読みます。それ
と名産である竹を併せたとのこと。



林飛竹会会長(左)と、山口直前会長(右)

OB会の雰囲気もこれと同じように、林
大克飛竹会会長を先頭に気軽で楽しい
組織です。これからも現役の活動や地域
の活性化など、和気あいあいとした空気
を大切に支援していきたいと存じます。

日本JCシニア・クラブ

近畿地区担当世話人 橋本光夫



駅伝の設営にも参加



乙訓ふるさとふれあい駅伝の様子